

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

https://kosaiji.net/

法座のご案内

※ コロナ感染予防対策を徹底し行います。
ご参拝の皆さまにもご協力お願い致します。

春季彼岸会

三月二十日(土)

午後二時より



今号の法語



であいが

人を伸ばす。

わかれが

人を深める。



内容・三十五年ぶりの大雪にビックリ!
内・仏事のQ&A 〓 領解文 〓
の・千夏のきときと日記
号・YouTubeで聞こう! 〓 仏さまのお話 〓
今・住職コラム



春といえば、出会いと別れの季節です。入学式は新たな友との出会い、卒業式は大切な友との別れ。考えてみると、この出会いと別れによって私たちは育てられてきたのでした。

そしてそれは一生の間つづきます。かけがえのない出会いもあれば、忘れることのできない別れもあります。出会いは前向きなプラスのイメージがある一方で、反対に別れはマイナスイメージがどうしても強くないでしょうか。大切な方との死別などは、厳しい現実には否が応にも向き合わされます。

思い通りにならない現実に向き合う時、辛く悲しい中だからこそ、日頃見えなかった大切なこと、振り返ろうともしなかった自分の姿にも気づかせられるのかもしれない。

出会いと別れの人生。どちらも大切に受け止めていきたいものです。

三十五年ぶりの大雪にビックリ!

皆さん大雪の被害はありましたか?
 一月の大雪にはきつとビックリされたことでしょうか。報道によれば、一九八五(昭和六〇)年以来、実に三十五年ぶりの大雪だったそうです。あつたという間にたくさん積もりましたが、その後も雪は止むことなく降り続き、積雪は一メートルを越えました。道路



は渋滞し、帰宅時間に十時間以上かかったという方も何人もお聞きしました。

お寺の境内地も大変なことになっていたのですが、門徒さん方に助けていただき、なんとか写真(上)のような状況まで除雪できました。ありがとうございます。

ですが、向拝(本堂前)は写真(下)の通り。本堂から落ちてくる雪と相まって、手の施しようがありませんでした。まだ降っていたらと思うとゾッとします。

ただおかげ様で、お寺では瓦の欠けが出た程度で、大きな被害はありませんでした。

仏事の疑問 Q & A

質問 月参りの最後に、仏様に向かってとなえているのは何ですか?

月参りに伺った際、お参りの最後にさせてもらっていることがあります。

通常ならば、皆さんの方に向き直り、蓮如上人が書かれた御文章(御文)を拝読して

るので、コロナ禍に入ると以降、直接顔を向き合わせて大きな声を出す御文章は控えさせてもらっています。

代わりに勤めているのが、「領解文」といわれるものです。お東では「改悔文」とよばれています。

蓮如上人が書かれたと伝えられており、簡潔に浄土真宗のご法義をあらわしてあります。

よって、様々な法座の最後

は、この領解文を皆で勤めるのが慣わしでした。現代ではそれに代わって、仏教讃歌の「恩徳」を斉唱することが多くなっています。

さて「領解文」ですが、「領解文」の言葉の後、皆で「もろもろの雑行雑修自力のころをふりすてて・・・」と続きます。

短い文章ですので、是非皆さんも一緒に勤めてみてください。内容について興味のある方はぜひ声をかけてください。



千夏ちなつのきときと日記

この冬は本当にビックリするほどの大雪でしたね。今年は人生初の屋根雪下ろしの作業もしました。あんなにたくさんさんの雪が積もっていたのにもうすっかりと溶けて、確実に春が近づいてきています。

数年前までは過ぎしやすいく春が来るのが待ち遠しかったのですが、最近はずっと憂鬱に。なぜなら無縁だと思っていた花粉症にどうやらかかってしまったからです。毎朝くしゃみの連続から始まり、鼻水が止まらず、目もかゆい。目がかゆくてどうにもならずこすってしまい、最近はずコンタクトレンズが入らず眼鏡生活の日々を送ることに。眼鏡生活はマスクで曇ったり、面白がつて娘にとられたり、お風



呂に入る時にも不便なので煩わしさを感じています。

以前働いている時に、上司が花粉症で毎年大変そうなのを傍で見っていました。その時は「毎年花粉症ではなかったのだから毎年大変ですね。」と軽い励まし大変な声をかけていたのですが、いざ自分がかかってみるとこんなに辛いものだったのかと実感しました。

厚生労働省のホームページで花粉症について調べてみると、増加している病気が多く、人の口の四割近い人が悩まされているそうです。

いつ誰がなつてもおかしくない病気。病気に関わらず苦しんでいる人を見たら、「自分とは違ってよかった」と思うのではなく、その人の苦しみを想像し寄り添っていきたいと思います。

YouTube で聞こう！ ～仏さまのお話～

前々号(第57号)にて仏教が聞けるメディア紹介をしましたが、今年に入って、京都の西本願寺で行われている毎日の常例布教も動画配信が始まりました。また、最近テレビで話題の築地本願寺も動画配信に力を入れています。

浄土真宗は、仏さまのお話を聞くこと(聴聞)が基本です。ぜひ気軽に聞いてみてくださいね。



～お西さんの常例布教～
西本願寺の常例布教(お昼の法座)を毎日配信中
スマホでお聴聞できる時代になりました♪



～築地本願寺～
築地本願寺の常例布教から随時配信中
他にも様々な動画が盛り沢山です。

現在お寺でも法座は行っています。実際に仏さまを前にした空間でお話を聞くのも大切なことです。

住職コラム

希望に起き
努力に生き
感謝に眠る

一元南海ホークスの監督、野村克也さんの言われたことばです。何も難しいことばを使わずに、誰にでも分かりやすいことばです。朴訥ぼくとな人柄で、どこにあのエネルギーがあったのでしょうか。京都府の峰山みねやま高校の出身で、只々頑張つてこられたのでしょうか。一日一日の繰り返し、人生全般での繰り返しでしょう。一日の終



わりには「感謝に眠る」、ありがとう、合掌。また明日に向かつて頑張つていきます。

今、我が家の孫娘「英惟えい」は、まだハイハイと伝い歩きですが速い速い。これが立って歩くようになると高齢者には対応できなくなるのでしょうか。そこは賑やかに自然になんとかかなるんでしょう。有難いことですね。

ありがとうございます。
なまんだぶ。

お知らせ

令和三年

春季彼岸会

三月二十日(土)

午後二時より

法話 当寺 若院

蓮門会

四月四日(日)

午後三時より

場所 麻生谷 西光寺

広濟寺仏教婦人の集い

※新型コロナウイルス感染症

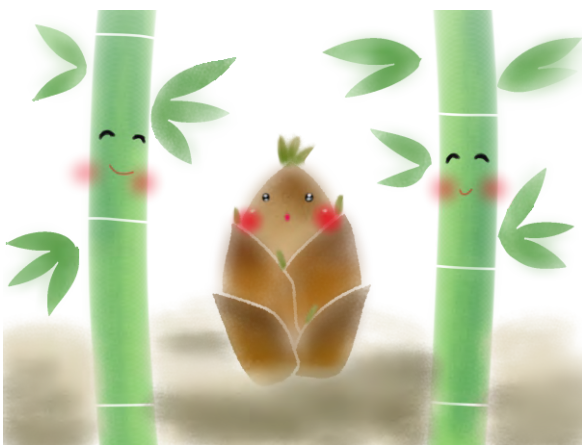
の拡大防止のため延期

広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※四月まで休会します



編集後記

今号の記事にも書きましたが、今年の雪は本当に大変でした。交通網が寸断され、お寺のある笹川の村も半孤立状態に。

通れそうな道を探しながら車を進めるのですが、ちよつと行ったところでスタック(雪にはまって車が前にも後ろにも動けなくなる事)。ならばと別の道から進むも、またスタック。休日にも関わらず、また自宅の除雪があるにも関わらず、助けてくれた皆さん方、本当にありがとうございます。

大雪が降ると、至る所で車が動かなくなります。ですが、そこにはたくさんの方々のお助けがあります。雪は冷たくても、心は暖かく！そんな雪国精神を大事にしていきたいです。